重慶市渝中区の「一帯一路」に積極的融入・
内陸開放高地の建設加速指導チームによる
外商投資企業円卓会議制度構築に関する通知

区級国家機関の各部門、各管理委員会、関係先：

党中央及び国務院による外資の誘致・利用により力を入れる政策決定・活動計画を深く貫徹するために、重慶市商務委員会による『重慶市外商投資企業円卓会議制度の公布に関する通知』（渝商務発〔2023〕39号）の要求に従い、外商投資の全プロセスサービス体系に基づき、外資系企業及び外国商業協会との定期的な意思疎通の上、全区外資系企業円卓会議制度の構築・整備に取り組むこととなっている。

一、円卓会議の構成員

円卓会議は、渝中区政府の商務活動総括担当の副区長が招集者を務め、同区政府の商務活動連絡担当の副主任及び同区商務員会の責任者が副招集者を務めるが、招集者が副招集者に関連活動の展開を委託することができる。円卓会議の構成員は、渝中区発展改革委員会、渝中区教育委員会、渝中区科学技術局、渝中区経済情報委員会、渝中区財政局、渝中区人力資源・社会保障局、渝中区計画自然資源局、渝中区生態環境局、渝中区商務委員会、渝中区政府外務弁公室、渝中区市場監督管理局、渝中区統計局、渝中区金融弁公室、渝中区税務局、渝中区工商業連合会等関係先となり、渝中区商務委員会が調整役を務める。

二、活動の役割

外資系企業の全プロセスサービス体系を健全化し、外資系企業との定期的な意思疎通メカニズを完備させ、外資系企業との意思疎通という「行政サービスの執事」の日常サービスの保障を強化する。即時に企業の訴求を把握し、その需要に応える。企業からの意見・提案を全面的に聴き取り、政策・措置を的を絞って最適化させる。政策の宣伝説明を実施し、企業に恩恵・利益をもたらす政策を即時に紹介し、政策の透明性と予測可能性を向上させる。企業が関連政策を享受するための円滑化サービスを提供する。外資系企業（プロジェクト）への生産要素の供給とサービスの保障に力を入れ、外資系企業（プロジェクト）の運営中にある困難・問題点を的確に解決する。ポジティブ指導を強化し、企業が重慶での発展により前向きにさせる。

三、活動の要求

（一）日常サービスを着実に実施し、会議前の意思疎通・状況把握を強化する。

「行政サービスの執事」のサービス職能を完備させ、執事が進んで「一対一、一対多」で日常サービスを提供するように徹底し、登録台帳を作る。円卓会議サービス保障チームを設立し、会議にあたり、日常サービスに合わせて企業が注目する点を把握し、意見の聴取及び特化した需要の募集を実施し、会議のテーマや出席企業の範囲、会議の形式等を企業の要望に合わせて洗い出した上で決めておく。

（二）定期的な意思疎通メカニズムを確立、マッチングやコミュニケーションを定期的に実施する。

外資系企業円卓会議は原則として四半期ごとに1回開催されるものとする。中国の政策・方針及び世界経済・情勢、全市・全区における産業発展をめぐり、適切に分野別や国別、テーマ別で円卓会議を開催し、外資系企業及び外国商業協会等と当該業界の主管部門との意思疎通を促進させ、意見・提案を全面的に聴き取る。最新政策についての宣伝説明・紹介を即時に実施する。全区の外資系企業が段階的に注目する重要課題や関心度の高い課題に焦点を当て、関係部門がその場で回答できるよう、即時に調整する。外資系企業・商業協会と業界との意思疎通を実施させる。

（三）台帳式・リスト化管理により、全プロセス閉ループ活動を実現させる。

円卓会議の「現場で活動展開→会議後監督・管理→期限内に完結」という効率的閉ループサービスモードを確立し、会議後、直ちに意見・提言をまとめて台帳に登録し、責任機関や責任者、期限を明確にした上、問題点の適切な解決と期限内回答をフォローアップして監督・管理する。多発している際立つ共通の問題点について、専門的な研究で深掘りし、表面的な現象の問題解決を切口として他のことを類推し、政策・メカニズムのイノベーションの後押しを深化させ、業界発展を抑える障害物を取り除き、実効性のある政策・措置の打ち出しを促進させる。

2024年1月19日